

議会だより



沖縄県金武町

きんてん



金武町イメージキャラクター
金武タームくん

第172号

発行：令和5年2月27日



「新おきなわ観光名所100選」にも選定されたウッカガー(大川)。強力なパワースポットとしても知れ渡る穴場観光スポット。

主な内容

- 一般質問..... P2~15
- 伊藝菊博 P2 / 吉野 潤 P3 / 山里 均 P4 / 松田健人 P5 / 仲村広美 P6
- 伊藝直樹 P7 / 外間慎仁 P8 / 池原政文 P9 / 崎浜秀幸 P10 / 與那城直也 P11
- 仲間トム P12 / 前田健次 P13 / 大城一之 P14 / 大城政敏 P15
- 令和4年第8回(12月)定例会 / 令和5年第1回(2月)臨時会
- 町村議会議員・事務局職員研修等..... P16~24

◆発行：金武町議会 ◆編集：議会広報調査特別委員会

〒904-1292 沖縄県国頭郡金武町字金武1番地 NTT098-968-2292

金武町公式ホームページ <http://www.town.kin.okinawa.jp> 金武町議会メールアドレス gikai@town.kin.lg.jp

きんてん(均霽)とは「均しく霽う」という意味で、町民が等しく行政の恩恵を受けられるよう町民代表の議決機関の使命を踏まえて昭和55年の発行1号の際に命名しました



令和4年第8回(12月)定例会

一般質問

(※質問順に掲載し、質問・答弁は要約)



伊藝菊博 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

伝統文化

伊藝議員 町で各区の舞踊を撮影保存しているが、今後どのように連携を図っていくのか。

比嘉貴一 教育長 毎年、金武町民俗芸能祭を開催して各区で保存継承されている民俗芸能を一堂に披露し、鑑賞する機会を設けてきた。

平成26年度から各区に伝わる民俗芸能の保存と継承、文化的魅力の発信及び町民の郷土学習への利用を目的として映像テキスト(DVD)を製作している。

伊藝議員 町・各区の名物料理、食文化についての見解は。

教育長 町は田芋を使った伝統料理がある。また、チーイリチャー、屋嘉ジューシ、ニーヒラサーやタコライス等もある。町特有の料理はそれぞれの特性に合わせて町をPRできる資源として活用できるものであり、町の文化として継承してほしいと考えている。

伊藝議員 各区にいろいろな種類の旗頭がある。披露できる機会があれば町内外に周知し、文化財としても選出できるのでは。

教育長 コロナ禍で停滞した伝統芸能の継承を促進していきたいと考えており、各区の象徴である旗頭を一堂に掲げる催しは区民の帰属意識を高揚させ、伝統芸能の

継承に寄与できるものと期待されるため実現に向けて各区と相談していく。

伊藝議員 旗頭を見たい方が多数いるので文化の日や金武町まつりで展示、披露する機会を作ってみては。

儀間権 社会教育課長

これまで一堂に会してお披露目する機会はなかったため今後各区の方々と相談してできるような体制で取り組んでいきたい。

生活環境

伊藝議員 近年町内では外国人住宅が多く建ち並び、外人住宅前の道路は路上駐車がが増えており通行人へ支障があるが町の見解は。

仲間一町長 今年9月、複数のYナンバー車両が路上駐車で通行に支障があると住民から相談があり、現場を確認し、英語表記による路上駐車を禁止する旨の看板を設置した。

伊藝議員 夜間、深夜間わ

ず外国人住宅で車の修理、パーティー等が行われており、近隣住民から苦情があるが。

町長 町内外国人住宅での騒音の苦情・相談があった際は状況把握に努めるとともに、外国人住宅を管理する不動産会社に対して指導等を行うよう連携を図ってきた。その後、騒音に関する相談がないので一定の効果があったと考えている。

教育環境

伊藝議員 各小学校、中学校で使用している電子黒板の利用頻度は。

教育長 各教室に設置した全ての電子黒板にデジタル教科書を導入しており、授業の際はデジタル教科書を活用しているほか、教育コンテンツや教職員・児童・生徒が自ら作成した教材や資料等を活用した学習を実施している。

伊藝議員 路線バスの運行時間変更で中学生に支障が

でているが。

教育長 嘉雲小学校区生徒の平日の登下校や土日の部活動の登下校に影響があると考えている。

金武中学校管理棟の玄関前にバスの現在地が表示されるモニターを設置して生徒の下校を支援している。



バスの現在地が表示されるモニター

伊藝議員 スクールバス導入の予定は。

教育長 スクールバスを運行すると路線バスがなくなってしまう。そうすると高校生、障がい者、高齢者等自分で運転ができない方の移動手段がなくなるためバスを運行してほしいとバス会社に依頼している。



農業 振興



吉野 潤 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

吉野議員

農産地生産基盤

パワーアップ事業のこれまでの取組みと成果、今後の取組みと計画は。

仲間一町長

農家で当該

事業を活用した実績はないが、各生産部会等に補助事業説明会を開催し、同事業を活用する農家の支援に取組んでいく。

吉野議員

農家に対する周

知、各部会、農業者連絡協議会、農業委員会を通じての話合いはどれぐらいされているのか。

糸村昌敏 農林水産課長

町の農業者連絡協議会の役員が集まる会議が年に2回ある。新規就農者に対して

は県が実施している研修の中でも担当者から直接説明を聞く機会があり、認定農業者会においても年に数回県の研修会があり、そこに派遣して補助の内容等を勉強する機会がある。

吉野議員

町の農泊について

の考えは。

町長

NPO法人雄飛ツ

リズムネットワークが主体となり、農山漁村振興交付金のうち、農泊推進対策事業を活用して町の特産品である田芋やマンゴー等の農

林水産物や食、観光、文化等の多数の地域資源を有効利用した地域活性化を目的に金武町ツーリズム推進協議会を立ち上げ、町も連携しながら事業を実施している。主な事業内容は地域の農家や事業者と連携を図り地域資源を生かした食や体験コンテンツの開発、県内外へのプロモーション活動、農泊の受入れ体制の充実に向けた民家説明会や講

習会の実施等となっている。

吉野議員

宿泊型ではなく

滞在型のイノベーション開発事業も考えているのか。

農林水産課長

農泊を活用

してくる町内外の方々に対して農業の良さを伝えるのは農家だと考えている。

宿泊関係、観光関連の事業者に経済効果が主にある

のではなく、実際受入れをする農家にも経済効果があるしながら、農業振興につながる仕組みづくりは大事な

ことであり、農林水産課も金武町ツーリズム推進協議会に関わっており、農家の代表の方も来ているため、意見が反映できるコンテンツの計画はしっかり取組んでいきたい。

ギンバル開発に伴うホテル建設等の進捗状況

吉野議員

9月定例会で海

外資本のホテル建設計画で

「10月初旬から中旬にかけて海外デベロッパと直接

今後の計画について話し合う予定である」と答弁したが、話の内容は。

町長

事業着手が進まない

現状について事業継続の意思確認や町民から不信感、事業未着手による町の振興・発展への影響等、懸念事項を伝えたほか、早期着工について強く求めている。

トロピカーナ社からは事業着手が遅れていることへの謝罪や建物の内装、外観のデザイン等の修正を加えながら事業着手に向けて取組むという前向きな考え方が示された。

吉野議員

令和8年までに

建設が終了していない場合のペナルティの話までしているのか。

仲間 功 商工観光課長

現段階では確約するものを受

け取っていないが10月に話し合いをした後に細かいことも含めて、トロピカーナ社から計画の内容も聞いていますので確約を早急に考えていく。

教育 行政

吉野議員

学校の働き方改

革を踏まえた部活動の改革に伴いスポーツ庁が進めている中学校部活の地域移行について教育現場での対応とこれまでの取組みは。

比嘉貴一 教育長

町の中

学校の部活動は部の設定・活動規程において13の部と2つの同好会がある。活動基準では必ず1名以上の教職員または部活動指導員が

就かなければならないと定められている。部活動の地域移行は部活動指導員配置のほかには地域スポーツクラブ、民間スポーツ事業者、スポーツ競技団体等が受皿となり実施するケース等があるが小規模な町村では受皿となる団体や民間事業所等がなく課題となっている。

教育委員会では他市町村等における先進事例等を検証しながら部活動改革に対応していく。



山里 均 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

ASBO SATY
HOTEL**山里議員** 町内の職員内定者3名以外の決定者は何名か。**仲間一町長** 12月現在13名の雇用があり、そのうち町内が11名、町外が2名となっている。**山里議員** 開業が遅れたことよって給与の支障はなかったか。**町長** 現状のホテル運営状況による雇用条件の内容変更等はないと聞いている。**山里議員** 今後の職員採用は。**町長** 現在も継続的に従業員を募集している状況であり、株式会社アイロムP**M**及び金武町就活支援センターにおいて求人募集をかけているほか、令和5年1月に開催予定の金武町合同企業説明会へも参加予定となっている。**山里議員** 一般観光客の宿泊はまだまだできないのか。**仲間功 商工観光課長** 一部条件付きで5名以上3部屋の受入れをしている。**山里議員** 温泉入浴料の町民割引はいくらか。**商工観光課長** 町民割引で大人1000円、子ども500円となっている。**津波災害避難場所・避難経路の表示****山里議員** 災害時に住民がゲート42レンジ4の鍵の開閉ができる協定は米軍と結んでいるのか。**町長** 町と米海兵隊太平洋基地司令官との間で災害準備及び災害対応のための在日米軍の施設及び区域への限定された立入りについ

災害時に解放されるキャンプ・ハンセンゲート42レンジ4

ての現地実施協定を2014年、2017年、2022年に締結している。また、町内において渡慶頭原にあるゲート46及び伊芸区内のゲート42からキャンプ・ハンセン内へ一時避難としてゲートが開放されることとなっている。

山里議員 レンジ4からユニニー高台までの避難経路へ蓄光看板の設置は。
町長 設置を早急に行っていく。
山里議員 町全体の避難経路表示及び避難場所の海拔表示等はいつ頃設置予定か。**町長** 町全体の調査計画を改めて行い設置を進めていく。**山里議員** 防災マップのレンジ4ゲート前とユニニー高台に海拔表示が無いのはなぜか。
安富祖勧 複合庁舎整備推進課長 主な施設だけを海抜標記しているため今後の見直しに関してできるだけ海抜表示も入れていきたい。

避難場所のユニニー高台



松田健人 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

金武町複合庁舎(仮称)
整備事業の進捗状況

松田議員 令和2年2月

に用地検討委員会から答申され、各区との意見交換においても金武町総合保健福祉センター周辺でおおむね合意がなされたようだが、用地の確定は。

仲間一町長

本年度、複

合庁舎基本計画策定業務を行っており、用地の決定、複合庁舎に必要な機能や規模、概算費用等、整備の骨格となる基本計画を策定することとしており、町民のコンセンサスが得られるよう、8月にアンケート調査、10月に住民説明会を実施している。また、10月から建

設検討委員会を立ち上げ、同委員会による調査・検討等を行っている。



用地検討委員会が複合庁舎予定地として答申した総合保健福祉センター

松田議員

答申後は何も

安富祖勧 複合庁舎整備推

進課長

町民説明会等を予

定していたが新型コロナウイルスの影響で控え、各区行政委員会等に説明、意見交換会を行った。

松田議員

用地は決定し

ていないのか。

複合庁舎整備推進課長

まだ決定していない。

松田議員

行政委員との

意見交換では保健福祉センターを取壊し、用地を確保

するという意見が全区であつたことだが。

複合庁舎整備推進課長

数名から保健福祉センターの統廃合を含めて検討した方が良いという意見はあつた。

松田議員

町民アンケー

トの内容には保健福祉センターを取壊して新複合庁舎にその機能を入れ込むということに関しての質問項目は一切なく、その後の町民

説明会では取壊さないと明言している。保健福祉セン

ターを取壊して新複合庁舎にその機能を入れ込むとい

う意見が最初からなかった

かのようにされている気がするが、この意見はとても

重要だと考えるが。

複合庁舎整備推進課長

アンケートは町民の意見が

反映されるように分かりやすく用地の場所、複合機能

はどちらが良いのかという部分の設定を設定した。

町長 もともと保健福祉

センターの取壊しは考えていない。住民説明会や検討

委員会の中でも取壊して建てるという部分の議論はさ

れていないと考えている。

松田議員

仮に保健福祉

センターを残したまま新庁舎を造るとなった場合はさ

らに用地が必要になつてくるがどのように考えている

か。

松田議員

現在の役場周

辺で用地が確定した場合、仮庁舎や職員の執務環境はどのように整備していくのか。

複合庁舎整備推進課長

既

存の場所に庁舎建て替える場合、一度別の場所に移つて、完成してまた戻つてく

るため作業的に負担はある。

既存の場所に建てる場合の

メリットやデメリットも含

めて用地に関しては検討し

て進めるべきだと考えてい

る。

松田議員

用地が決まら

ないと前に進まないのです

ピード感を持って新複合庁

舎の整備に全力を注いでほ

しいが。

町長

用地買収に係る住

民との接触、意向調査をし

ており、その展開次第で進

捗状況が変わるかもしれないが慎重に協力する体制づく

りをしていきたい。



仲村広美 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

庁舎建設

仲村議員 庁舎の進捗状況は。**仲間一町長**

全体的な工程として令和5年度基本設計、6年度実施設計、7年度着工、8年度中の完成・供用開始を目指していく。

仲村議員

令和3年3月定例会で「再編推進事業の当該補助は町長が当時の官房長官に要請した時から10年間という期限があり、まだ余裕がある」と答弁しているが、10年間という法的根拠は。

町長

10年という期限は規則及び要綱等に基づき交付されることとなっており、一般的な考え方で10年と答

弁している。当該事業については防衛省及び沖縄防衛局と協議を行いながら適切に事業実施に努めている。

トロピカーナランド・デベロップメント社ホテル建設**仲村議員** トロピカーナランド・デベロップメント社のホテル建設の進捗状況は。**町長**

内容は1工区ではホテル、商業施設、サービスアパートメント、分譲マンションの建設が予定されており、現計画ではホテル並びにサービスアパートメントは12階建てで、部屋数はホテルが約190室、サービスアパートメントが約64室、分譲マンションは18階建てで、部屋数は約389室が予定されている。

今後のスケジュールは現在進行中のホテルやマンション等の詳細設計に3か月、図面作成に4か月、沖縄県への申請等の手続に4か月と約1年をかけて準備し、

令和5年度を目途に工事に着手、約3年をかけて建設していくとのことであった。

今後、町と同社の事業調整は随時事業の進捗等を確認するとともに、町の顧問弁護士とも調整しながら進めていきたいと考えている。また、対面での調整のほか、メールやオンライン会議等でも密に連絡を取り合いながら円滑に事業が推進できるように連携しながら取組んでいく。

トロピカーナ社のホテル予定地
(ギンバル訓練場跡地)

令和4年度国庫補助金等返還

仲村議員 補助金返還に至った経緯は。**町長**

令和2年2月19日

に沖縄振興公共投資交付金（農業集落排水事業）で整備された事業全般の会計実地検査があり、並里・金武（第2期）地区農業集落排水資源循環施設建設工事（機械・電気）で整備した汚泥量調整機構の必要性について会計検査院から疑義が持たれた。

令和4年4月21～22日に再度本工事についての会計実地検査が実施され、これまでに検査院の疑義に対する町の回答で行われた質疑応答を含めて会計検査院の同機器の資源循環施設への設置は必要なく不当であると検査講評を受け、8月16日に町は会計検査院の实地検査結果に対する意見照会において補助金の返還もやむを得ないと回答している。

得ないと回答している。

仲村議員

町は補助金返還するにあたり、今後予算等をどのように対応するのか。

町長

12月定例会で補正予算を計上しており、今後は国や沖縄県に対して補助金返還に係る手続を適宜進めていく。

仲村議員

下水道の接続率が80%以上なら大丈夫だったのか。

伊芸誠 上下水道課長

検査院の意見は汚泥量調整機構を入れるよりも、倉庫を大きくした方が良かったのではとの見解であったが町は75%の流入量があるという試算になっている。

仲村議員

今後は事業を実施するにあたり慎重に取組む必要があると考えるが。

町長

町はこれからも様々な補助事業計画があることから今回の件を受け、より一層慎重を期して事業実施に取組んでいく。



伊藝直樹 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

中川地区公園改修工事

伊藝議員 中川地区公園

の広場は排水不良、遊歩道はタイルが剥がれている状況だが、中川区と調整を行ったか。

仲間一町長 中川区と調整し、令和5年1月から工事実施予定である。

伊藝議員 完成はいつ頃か。

金城司建設課長 令和5年9月頃完成の予定である。

伊藝議員 芝生は全部取り除いて新たに土を入れて張り替えるということか。

建設課長 現在の公園は芝が凸凹しており、暗渠を入れて排水機能を強化し盛土をして芝を張る形になる。



タイルが剥がれている遊歩道

伊藝議員 公園内の駐車場は何台か。

建設課長 7台である。

伊藝議員 駐車場を増やせるのか。

町長 現状としては公園利用者以外の車両が駐車され、公園利用者の駐車に支障を来しているため日常的に停車をしている車両の所有者に注意喚起や注意看板を設置し、公園利用者の利便性向上に取組んでいく。

伊藝議員 公民館側ののり面整備はできないのか。

町長 本公園の整備計画に含まれてないが今後は関係機関と調整をしながら整備に向け検討をしていく。

伊藝議員 公園でイベントや祭り、区民運動会もある。公民館のそばに土砂を置いてある場所を整地して駐車場を造る考えは。

建設課長 公園利用の在り方、駐車場が必要なのか検討して整備は考えていく。



公園内の駐車場

町内の道路整備

伊藝議員 土地改良区の宇謝原から福花原の道路に排水溝の蓋がなく、防風林の落ち葉、雑草が茂っている状況だが。

町長 現在、町道251号線が工事中のため、12月未まで一部通行止めとなっている。除草作業等が未実施だが道路工事が完了し、通行止めが解除される前に除草作業、側溝清掃等を実施する予定となっている。

伊藝議員 排水溝の蓋を設置するのは難しいのか。

伊藝議員 排水溝の蓋を設置するのは難しい状況となっている。

伊藝議員 モクマオウが伸び放題になっているので切った方が良いのでは。

伊藝議員 排水溝の蓋を設置するのは難しい状況となっている。

伊藝議員 排水溝の蓋を設置するのは難しい状況となっている。

伊藝議員 排水溝の蓋を設置するのは難しい状況となっている。

伊藝議員 排水溝の蓋を設置するのは難しい状況となっている。

伊藝議員 排水溝の蓋を設置するのは難しい状況となっている。

伊藝議員 排水溝の蓋を設置するのは難しい状況となっている。

伊藝議員 排水溝の蓋を設置するのは難しい状況となっている。

伊藝議員 排水溝の蓋を設置するのは難しい状況となっている。

伊藝議員 排水溝の蓋を設置するのは難しい状況となっている。

伊藝議員 排水溝の蓋を設置するのは難しい状況となっている。

伊藝議員 排水溝の蓋を設置するのは難しい状況となっている。

伊藝議員 排水溝の蓋を設置するのは難しい状況となっている。

伊藝議員 排水溝の蓋を設置するのは難しい状況となっている。

伊藝議員 排水溝の蓋を設置するのは難しい状況となっている。

伊藝議員 排水溝の蓋を設置するのは難しい状況となっている。

伊藝議員 排水溝の蓋を設置するのは難しい状況となっている。

伊藝議員 排水溝の蓋を設置するのは難しい状況となっている。

伊藝議員 排水溝の蓋を設置するのは難しい状況となっている。

伊藝議員 排水溝の蓋を設置するのは難しい状況となっている。

伊藝議員 排水溝の蓋を設置するのは難しい状況となっている。

伊藝議員 排水溝の蓋を設置するのは難しい状況となっている。



外間慎仁 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

億首川周辺環境の保全・再生活用と継続可能な観光まちづくり

外間議員 令和4年3月に億首川周辺マングローブ保全再生・活用基本計画が策定されている。その基本計画に沿った町の今後の方針は。

仲間一町長 企業版ふるさと納税やクラウドファンディング型のふるさと納税を活用し、生体系の再生・保全と観光・教育について持続可能な取組みが図られるよう実施していく。

外間議員 昨今の集中豪雨、線状降水帯により、億首川周辺海域やKINサンライズビーチへの赤土流出

が懸念されているが、どのように対策していくのか。

町長 大雨時や台風後等に町内のパトロールを実施するとともに流出箇所の原因等を確認し、流出箇所の指導等を行っていく。

外間議員 億首川周辺海域・KINサンライズビーチの漂流ごみと海藻対策は。

仲間功 商工観光課長 海藻に関しては対応した後にも大量の海藻が打ち上げられ海岸沿い等かなり浮遊してたどり着いている。その状況について町から北部土木事務所河川海岸班に連絡等をしている。今後も連携してどのようなことができるか状況報告も含めて対応していきたい。

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動

外間議員 近年、急激な社会変化に伴い、学校と地域を取り巻く課題が複雑化、多様化しており、いじめや

暴力行為等の問題や不登校、特別配慮を必要とする児童生徒数の増加等、多様な児童生徒及び保護者等への対応が必要な状況となっている。このような状況を踏まえ学校と地域住民等が力を合わせて学校運営に取り組みコミュニティ・スクール、地域が相互にパートナーとして行う地域学校協働活動の実施についてどう考えているのか。

比嘉貴一 教育長 町はコミュニティ・スクールが導入された法の趣旨に基づき既存の活動を再構築して地域と学校の連携を強化するため令和元年度に教育委員会の職員2名を先進地へ派遣して視察研修を行い、コミュニティ・スクール導入の検討を進めてきたが、令和2年度から新型コロナウイルス感染症が拡大して休校や学級閉鎖が行われ、学校内には児童生徒及び教職員以外の者の立ち入りを制

限することが余儀なくされ地域との連携を図るには厳しい状況が続いている。今後はコミュニティ・スクールの導入に向けて県内外における先進校の事例を再度調査し、地域と学校の協働体制の強化に取り組んでいく。

物価高騰による電気料金値上げ等の生活困窮世帯、ひとり親世帯への支援策

限することが余儀なくされ地域との連携を図るには厳しい状況が続いている。今後はコミュニティ・スクールの導入に向けて県内外における先進校の事例を再度調査し、地域と学校の協働体制の強化に取り組んでいく。

外間議員 昨今のウクライナ侵攻に伴う世界情勢による生活必需品や燃料高騰、さらには2023年4月から電気料金が39%も値上げされると発表があった。このような大変な状況の中、特に生活困窮世帯やひとり親世帯への支援は急務だと思いが町の支援策は。

町長 新型コロナウイルス感染症の影響やウクライナ侵攻に関連する世界情勢の変化等による一般の生活必需品及び燃料費等の高騰

は町民生活における直接的な家計負担になっていると考えており、令和4年度も生活困窮世帯、ひとり親世帯等への各種支援策を推進している。

令和3年度繰越事業を合わせた令和4年度における生活困窮世帯、子育て世帯等への支援に係る給付金の合計は約2億7200万円となり、低所得の子育て世帯に対する給付額は子ども2人世帯の場合27万円となる。今後も給付事業は早期の支給を実施することで引き続き生活困窮世帯及び子育て世帯等の支援を推進していく。

その他の質問事項

金武小学校・金武中学校の校舎建て替え、改修等
学校周辺環境の改善



池原政文 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

ゲートボール場施設の
修繕等

池原議員 伊芸さくまつ

公園内に整備されたゲートボール場の施設は建築後25年近くが経過しているため老朽化が進行している状態だが、利用者から修繕等の要望はあったか。

金城司建設課長

令和3

年度に伊芸区長より照明の不具合や破損している照明、さくまつ公園の擁壁上部、さくまつ公園の隣にある駐車場においてアスファルトの破損、ゲートボール場の男性用トイレのドアの建てつけが悪くなっているのを改修してほしいと要望があった。



さくまつ公園内のトイレ

池原議員

並里モーシヌ

森公園内ゲートボール場の女子トイレは和式と洋式がそれぞれ1台設置されている。施設を利用して高齢者から和式トイレを洋式へ改修してほしいとのことだが、利用者の利便性を図る考えはないか。

仲間一町長

和式便器は

高齢者にとつて利用しづらいことから和式便器を洋式便器に取替え、扉の開閉を内開きから外開きに変更し、それに伴い手洗い場の位置を移動する必要があるため給排水の改修も行うものがある。改修に係る予算を12

月定例会の補正予算で計上しており、速やかに改修を行っていく。



モーシヌ森公園内のトイレ

サトウキビの生産振興

池原議員

生産振興策に

ついて町とJA及び生産者との連携体制は。

町長

金武町さとうきび

生産組合の事務局をJA金武支店が担っており、3者が共同で講習会等を開催する情報共有、連携を図っている。

池原議員

平成30年度に

は農協で働いていた経験者を新たに農林水産課農政係長として配置した。町には

農業アドバイザーもいるため活用していけばさとうきびの生産向上につながるかと考えるが。

糸村昌敏

農林水産課長

いろいろな人材や各関係機関との連携が大事だと認識しているのだから連携しながら農業振興に努めていきたい。

池原議員

農業委員会との

連携は。

町長

圃場を借り受けて

さとうきびを植え付けたい農家に農業委員会や農地利用最適化推進委員が遊休農地の斡旋等を行っている。

池原議員

農業生産組合

の組織化の現状は。

町長

現在伊芸さとうきび

生産組合が植え付け、病虫害対策、収穫作業等の受託作業を行っている。生産向上支援の強化は町が行っている支援策に加え、10月27日に北部地区さとうきび生産振興対策協議会と連携して増産対策及び労働力の

軽減や今後の課題解決に努め、生産意欲を高めることを目的に町内圃場においてさとうきび植え付け機械ビレットプランターによる植付けの実演会を行った。町内農家をはじめ北部地区のさとうきび農家が多数参加し、活発な意見交換の場になった。

また、北部地区さとうきび

生産振興対策協議会やゆがふ製糖工場株式会社の助成制度の利用推進やJA金武支店と連携して適宜肥培管理の啓蒙活動も実施している。

池原議員

新たなハーベス

ター等の機械化導入計画は。

町長

JA金武支店が現

在所有しているハーベスターが老朽化しているため、県の補助事業等を活用してハーベスターの新規導入を計画、補助申請に取組んでおり、町も連携して取組んでいく。



崎浜秀幸 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

国への補助金返還

崎浜議員 汚泥量調整機構

設置計画の目的と理由は、

仲間一町長 宅内浄化槽

から下水道への接続率が向上し、農業集落排水処理施設内への汚水流入量が増えた場合、堆肥化されない余剰汚泥は経費をかけて町外へ搬出する必要があるため同施設内において汚泥量調整機構を稼働し、余剰汚泥を減量化することで町外への搬出抑制が見込まれ、今後のし尿処理搬出費用の軽減につながると考えている。

崎浜議員 汚泥量調整機構

があるところに倉庫を活用すれば汚泥量調整機構は必要なかったことだが町は計

画の時にそこまで考えてなかったのか。

伊芸誠 上下水道課長

町はこの機器の役割は大にあると考えている。汚泥が入ってきて排出できないという状況になると困る問題であり、汚泥量調整機構を設置していなければ不安の方が大きかっただろうと考えている。

崎浜議員 補助金返還による

町長 この事業を進めるに

あたって沖縄県へ申請、沖縄県と農林水産省の補助金交付決定を受けて進めてきた経緯がある。事業主体的な評価としては国・県の承認、交付決定を受けて適正に進めてきたと思っている。

町は必要とあって計画し、

実施している。今後の補助事業の進め方については教訓としていろんな角度から十分な検討をする必要があると考えている。

崎浜議員 今回の計画の中

では出来上がった堆肥をさとうきび農家に配付していくことだったと考えるが。

上下水道課長 目的は町か

ら発生する汚泥をさとうきび農家に活用してもらおうということであった。

この堆肥が農家に使用して

もらう期間は夏植え、春植えが主になる。それ以外の使用されない期間に関しては施設の中でどのような対応をするのか課題になっていた。

その課題の中で堆肥がどん

どんつくられて余っていくと

放置される状況があったので

入ってくる汚泥を減量しながら

適宜堆肥をつくっていくと

いう計画の中で汚泥量調整機

構を設置したものである。

崎浜議員 堆肥の安全性に

ついて検査が必要であると考え

えるが。

町長 肥料の品質の確保等

に関する法律に基づき令和元

年11月25日に肥料登録を行っ

ており、令和4年5月12日に

は同法に基づく専門機関の立入検査を受け、有害成分に対し、異常なしとの結果となっている。

また、資源循環施設維持管

理業務において毎年肥料成分や重金属含有分析、植害分析を行い、品質や安全性の確保に努めている。

崎浜議員 接続率が75%の

話をしていたが、現在の接続率は何%か。

上下水道課長 接続率は、

63・86%である。(各区ごとの

接続率は左表のとおり)

町内の下水道接続率

(令和4年8月末時点)

区	接続率
金武	34.96%
並里	97.25%
伊芸	81.15%
屋嘉	77.60%

崎浜議員 75%まで接続率

を上げていけば指摘もなかった可能性もあったが接続率を上げるための努力はどのよう

にしているのか。

上下水道課長 資源循環施

設が供用されてから4年、金武区の接続率が低調だが町は令和4年度から接続を促すた

めの訪問員を会計年度任用職

員で採用している。現在は屋

嘉地区でアンケートを実施し

て下水道への接続ができる

かの回答内容を集計してい

る。

今後は金武地区においても

訪問員とアンケートを実施し

て接続の向上に努めていく。



国・県へ補助金8,321万9,131円が返還となった汚泥量調整機構



與那城直也 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

ごみ削減に向けた取組み

與那城議員 ごみを削減す

ることでごみ処理の経費(焼却炉の燃料費)を抑えることができるが、ごみの重量80%以上の水分を含む生ごみを削減することが重要だと考える。

ごみ削減することは温室効果ガスの抑制による温暖化対策、自然環境への配慮等、SDGsの推進に合致すると考えるが町の考えは。

仲間一町長 ごみ削減の取

組みとして平成23年10月よりごみ袋の有料化を実施している。加えて令和3年4月にごみの正しい分け方・出し方パンフレットを作成し、全世帯へ配付をした。正しい分別

により適正処理されることで再資源化が図られ、温室効果ガス抑制等につながるものと考えている。

與那城議員 他市町村の事

例としてごみ排出量の削減を目的とした生ごみ処理機の普及事業について購入補助をしている自治体もあるが、町の考えは。

町長 先進市町村の事業効

果等を調査した上で検討していく。

與那城議員 ごみ処理機を

導入するとごみ出しの回数が減る。臭いもなくコバエが来ない。また、ごみ袋の購入が減ることは町民としても大変いいことだと考える。一番困るのは生ごみの散乱で朝方犬猫が来ることもあるのでぜひ生ごみ処理機を入れてほしいが。

伊芸英明 住民生活課長

機器を使ってごみの減量化を図っていくのも一つの手段と考えている。

機器の導入等に関しては

先進市町村の状況も鑑みながら考えていきたい。

與那城議員 ごみの中でも

生ごみが多いのか。

住民生活課長 燃えるごみ

に関しては生ごみが30〜40%の部分をお占めている。あとは紙類やプラスチック類も燃えるごみとして町では取り扱っている。

與那城議員 燃料も高騰し

ているのでその辺も考えながらぜひ前向きな考え方で導入、補助金を設置してもらいたい。

令和3年4月に配付したごみの正しい分け方・出し方のパンフレット



生ごみを処理機に入れて1ヵ月後の状態



生ごみ処理機



仲間 トム 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

コロナ・物価高騰による農家への影響

仲間議員 新型コロナウイルスや近年物価高騰の影響で肥料、飼料、資材燃料等様々なものが高騰する中、稲作農家や畑作農家の影響は。

仲間一町長 近年の社会情勢に伴う化学肥料や出荷箱、その他の農業資材、燃料費、輸送費等が高騰しており、農業経営においても大変厳しい状況となっている。

仲間議員 和牛農家や酪農家、養豚業、養鶏、ヤギ農家への影響は。

町長 和牛、酪農、養豚、養鶏、ヤギ等の畜産農家についても配合飼料等の価格が高騰しており、畜産経営に影響

が出ている。

仲間議員 影響を受けている農家について町はどのような対処法があるのか。

町長 町独自の支援策としては地方創生臨時交付金を活用して化学肥料の補助率を7～15%以内へ引上げ、出荷箱の補助率を産地表示あり30～50%以内へ引上げ、産地表示なし10～30%以内へ引き上げて支援している。

仲間議員 農薬と堆肥等の高騰は考えられるか。

糸村昌敏 農林水産課長 農家から化学肥料が高騰しているのが一番大きいと聞いている。

仲間議員 ハウス栽培は農薬、化学肥料、資材、鉄骨やビニール等影響が大きいと考えるが、新型コロナウイルスやウクライナ侵攻前に比べどの程度上昇しているのか。

農林水産課長 ビニールは3～4割値上がりをしており、鉄骨は倍近く資材が高騰

していると聞いている。

仲間議員 酪農家は牛乳価格が上がるのか、それとも横ばいのまま餌代だけがかかっているのか。

農林水産課長 飼料の高騰によって経費が上がっている。牛乳の単価は令和元年～3年までは131・77円で県酪農農業協同組合に販売をしていたと聞いている。4年度は物価高騰で経費が上昇している分を同組合が勘案して133・11円で買取りしているのを聞いている。

仲間議員 養豚業は。

農林水産課長 豚肉の販売は令和3年がキロ当たり480円、4年が563円で若干上がった形で取引していると聞いている。

仲間議員 ヤギは新型コロナウイルスが始まった当時から出荷ができなくなり買手がいないと大分悩んでいる声を聞いたが、今はどういう状況なのか。

農林水産課長 競りの状

況を見てもコロナ禍に入り競りの平均のキロ単価が600円台まで一時下がった。

仲間議員 農家からはキロ当たり1000円以上ないと儲けが出ないというのを聞いていて

11月に今帰仁での競りではキロ1051円だったという報告を受けた。観光客も入ってきており若干上向いてきているということでは待っている。

仲間議員 町は農家に対して支援していく考えか。

農林水産課長 国から令和5年2月頃に飼料価格高騰対策事業が示されており、町は農家に対して申請から計画書作りまで支援をして受給できる体制を整えていきたい。

安心サポートカー補助金

仲間議員 令和2年度から始まった65歳以上の高齢者ドライバー安心サポートカーの令和2～4年度の実績台数は。

町長 これまでに令和2

年度40台、3年度10台、4年度4台の合計54台に取付

けを行っている。
仲間議員 減っている理由は。

知念久総務課長 初年度で40台の実績はある程度周知されて申込みが来たというのと、高齢者の運転は社会問題になっており、返納や更新をしない等が進んでいる。また、町では今年度から本格的にコミュニティバスの運行を行っているので免許を持たなくてもある程度生活の支援にはなっていると考えている。

仲間議員 年式が限定されて付けたくても付けられない車両があると考えているか。

総務課長 対応する車種は平成16年と10年以上前の車両でも対応することができるとある程度の年式の車種も対応可能だと考えている。



前田健次 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

現庁舎跡地活用検討委員会
の設置

前田議員 現庁舎敷地は町民の貴重な資産である。當山記念館や記念道路があり、我が町において観光ルートの一翼を担っている。町民の声を反映させるため庁舎跡地活用検討委員会の設置を検討してもらいたい。

仲間一町長 本年度の複合庁舎基本計画策定業務については用地の決定、複合庁舎に必要な機能や規模、概算費用等、整備の骨格となる基本計画を策定することとしている。同基本計画策定業務における現庁舎等の利活用への検討は用地の決定を踏まえながら跡地利用に係る施

設ごとの条件整備及び可能性調査を行うこととしており、各課のアンケートとヒアリング、施設現況調査、建設検討委員会による検討等を行っていく。

前田議員 新庁舎が移転した場合を前提として施設が有効に活用できるよう検討してほしいが町の考えは。

町長 移転先が正式に決まっていないうちで例え話になるが過去40年議論した中で民俗資料館や移民資料館等、敷地が選定できなかった過去があり、その部分を拾い出して精査しながらやっていく必要があるだろうと考えている。大きな建物なのでいろんなアイデアがあっても良いと考えているが、移転が決まってより良い方向に跡地利用が進めば良いと感じている。

軟弱地盤対策

前田議員 屋嘉交通公園は西側道路から町道60号線

に抜ける避難道路が雨時に軟弱地盤に変化し、歩行や車の走行に支障を来している。排水路を造って粘土製の排水時間を短くし、軟弱地盤の強度の増加、アスファルト舗装道路に改修する考えはないか。

町長 当該避難路については付近に高台がないことから民有地を所有者4名の了承を得て設定している。災害時の避難方法については原則徒歩で行うこととなっている。また、当該避難路が公衆用道路でないことからアスファルト舗装ができないが所有者の了解を得て改良資材等による対応を検討していく。

前田議員 同一帯は地形的に軟弱地盤なのか。

町長 地質調査を行ってないため把握できてないが大抵雨時に水たまりやぬかるみがあることは確認している。
前田議員 同避難道路への街灯の設置は。

安富祖勸 複合庁舎整備推進課長

民有地のため街灯の設置ではなく避難経路を示すとか海抜表示、蓄光、夜間でも視認できる表示の対応をしていく。



屋嘉交通公園横から町道60号線へ抜ける避難道路

嘉芸小学校前国道329号防護柵の設置

前田議員 令和5年4月開園予定の嘉芸こども園出入口から屋嘉14班信号機までの国道左側歩道沿いは現在防護柵が設置されていない。児童の安全通学の確保、車両の逸脱防止等観点から早急な措置が求められているが。

町長

現在建設中の嘉芸こども園出入口付近については防護柵が設置されていないため町は11月に北部国道事務所との行政懇談会で防護柵の設置を要請した。北部国道事務所からは令和5年度もしくは6年度の設置に向けて取組んでいくとの回答があった。



防護柵がない嘉芸こども園前の国道329号

その他の質問事項

防災有線放送電話機器の処理状況



大城一之 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

金武地区公園、ウォーキングコースの整備

大城議員 金武地区公園の利用状況は。

比嘉貴一教育長 広場では毎週サッカーや野球の練習で利用され、チームランドでは子ども園や学童等が園外保育で利用しているほか、土日祝祭日は町内外の家族連れの利用者が多く見受けられる。

大城議員 ウォーキングコースの利用状況は。

教育長 朝早くから夜10時頃まで多くの町民が利用している。

大城議員 課題はあるか。

教育長 ウォーキングコースでウレタン舗装部分が数

か所破損しており、金武地区公園では老朽化により防球ネットのワイヤーやネットが破損している状況がある。今後は修繕に向けて取組んでいく。



ウレタン舗装が破損しているウォーキングコース

大城議員 ウォーキングコースだが夜は問題ないか。

儀間権社会教育課長

大雨の後にブレーカーが落ちたりして照明が消えることが何回もあり、その間に歩いている方は暗さを感じていまして、最近では木々がかなり生い茂ってきており光を遮ってしまっているため伐採してウォーキングコースの管理に努めていきたい。

大城議員 スケボーパークの検討状況は。

社会教育課長

設置の目的を整理するために社会教育課、建設課、商工観光課で話し合いをしているところである。

金武町社交飲食業会の現状

大城議員 現在の社交飲食業界の状況とこれまでの行政支援は。

仲間一町長

現在、新型コロナウイルス感染症による制限等はピーク時と比べ緩和されているが、その影響は長期化し社交飲食業界を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いている。

町はこれまでに影響を受けた事業者を支援するために金武町新型コロナウイルス緊急支援金や国の家賃支援給付金を受給した事業者に事業者負担分を給付する金武町家賃支援給付金を給付したほか、プレミアム率を

引き上げた金武町プレミアム商品券事業、国や県の支援策等の申請をサポートする相談業務を実施し、直接的、間接的に事業者や組合員を支援したほか、令和2年度に

大城議員 夜間タクシー及び運転代行車両の運行状況は。

大城議員 現在、新型コロナウイルス感染症による制限等はピーク時と比べ緩和されている状況と確認をしている。

町長

タクシー及び運転代行の夜間運行台数も減少している状況と確認をしている。

大城議員 金武町の社交飲食業界発展のための町の考え方は。

町長

社交飲食業界の活性化イベントへの支援、充実、周辺店舗への波及効果創出を図るとともに社交飲食業組合、事業者とアイデアを出し合いながら新たな客層やターゲットの呼び込みのほか、9月にオープンしたKI Nサンライズビーチや充実

したスポーツ施設、民間宿泊施設等の利用者の増加を見据え、楽しむ、学ぶ、食べる、泊まる等のコンテンツや周遊型、滞在型プランの開発を行えるよう社交飲食業組合、商工会、観光協会や民間事業者との連携、協力をより一層推進できるよう取組んでいく。

国道329号電線地中化

大城議員 現在までの進捗状況と事業完了は。

町長

レッド・ビーチ進入路付近から国道104号線付近までの区間について整備が計画されており、これまでに電線共同溝整備を完了し、現在は整備した電線共同溝から国道沿いの個人宅等へ配線工事を実施している。工期は沖繩電力株式会社が令和5年7月末、NTTインフラネット株式会社が令和6年2月末となっており、抜柱をもって事業完了予定である。



大城政敏 議員

※飛沫防止アクリル板を設置しています。

人事及び職員の採用

大城議員 競争試験による採用で各年度別、1次試験(筆記試験)の点数が上位の者の採用者は何名か。

仲間一町長 職員採用試験における受験者の評価は教養試験及び事務適正検査、職場適応性検査による結果

によって1次試験合格者を決定し、さらに1次試験合格者による論文試験及び面接による2次試験を経て行われ採用となる受験者を決定するため1次試験の教養試験結果における上位者が必ずしも2次試験を合格し、採用になるとは限らない選考方法となっている。

なお、採用となった2次試

験合格者の1次試験の点数及び順位については個人情報であることから受験者本人による請求でない限り公表できないものとなっている。

大城議員 競争試験による採用で公表できないのは個人情報保護法に基づいてのことだが法律の第何条に抵触するのか。

知念久総務課長 金武

町の個人情報保護条例の第2条に定義に「個人情報とは個人に関する情報(事業を営む個人の当該事業に関する情報を除く)であって、特定の個人が識別され、または識別され得るもの」がある。

また、金武町情報公開条例においては第7条の非公開とできる文書の中に個人に関する情報ということで個人情報該当するということになつていて。

大城議員 職員採用規則

を制定して職員を採用しているが、この規則制定の根拠

は法令、条例のどちらか。

町長 地方公務員法第20条

第2項の規定により、採用試験の方法は地方公共団体の任命権者の裁量に全面的に委ねられていることから、これに基づき金武町職員採用に関する規則が定められている。

大城議員 人事異動が毎年

実施されているが、どのような基準や方法で実施しているのか。

町長 人事異動のサイクル

としては現所属課の在職期間が3〜5年を異動対象の基準としているが機構改革や新規事業の実施等により、この基準に合わない人事異動が行われる場合もある。このような場合は異動となる理由を職員に説明し、理解を求めると共に行政サービス

の低下とならないよう事務引継ぎの徹底と研修への派遣等を行っている。

大城議員 町長は9月定例会で「人事異動は本人の希望

を踏まえて行っている。異動

となる理由を職員に説明し、理解を求めている」と答弁しているがそのようにされているのか。

総務課長

基準とする3〜5年に合わない機構改革等の新規事業関係で1〜2年で異動する人に対して話をしているという答弁である。

大城議員 令和4年度再任

された会計年度職員と新規に採用された会計年度職員

は何名か。

町長 前年度から任用さ

れた会計年度任用職員は14名で新規に任用された会計年度任用職員は18名である。

大城議員 教育委員会の

令和4年度再任された会計年度職員、新規に採用された会計年度職員は何名か。

比嘉貴一教育長 学校教

育課は49名でそのうち再任用された職員は38名、新規に採用された職員は11名となっている。

社会教育課は41名でそのうち再任用された職員は38名、新規に採用された職員は3名となっている。

大城議員 教育委員会の

人事は町部局に任すのではなくて教育委員会の中で人事をやっていく考えはないか。

教育長 町の職員として一

定の資質を求めるものであり、町長部局で人事配置するのが適当だと考えている。

大城議員 町長選挙のチラ

シに名前のある協力者や協力者の身内で会計年度職員、正規職員として採用されているのは何名か。

町長 民法725条に基づ

く親族で6親等となると200年も遡らなければならず、その間に関わった親族は1000名を超えるため、把握できない。

令和4年 第8回(12月)定例会

令和4年第8回定例会が12月13日(火)に招集され、16日(金)までの4日間の会期で開催された。一般質問は14名の議員が登壇した。

各会計の補正予算や条例改正、教育委員、副町長の同意などの議案が上程され審議を行った。また「海兵隊員による建造物侵入及び傷害事件に対する意見書・抗議決議」を審議、採決の結果可決となった。議決結果は、下記のとおり。

令和4年 第8回(12月)定例会 議決結果一覧

件名	議決結果
令和4年度金武町一般会計補正予算(第6号) 歳入歳出それぞれ3億504万2,000円を増額し、補正後の予算総額を121億3,567万4,000円とするもの。補正の主なもの、資材価格高騰に伴う金武町多目的屋内運動場建築工事の増額分、並里・金武(第二期)地区農業集落排水資源循環施設建設工事において設置した汚泥量調整機構が会計実施検査により不当とされたことによる補助金の返還金である。	原案可決 (全会一致)
金武町財政調整基金の処分について 農業集落排水資源循環施設における汚泥量調整機構に係る補助金返還のための下水道事業特別会計繰出金及び多目的屋内運動場施設整備事業等へ1億5,757万7,000円以内を充当するもの。	原案可決 (全会一致)
令和4年度金武町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号) 歳入歳出それぞれ975万7,000円を増額し、総額18億5,382万3,000円とするもの。補正の主なものは、令和3年度沖縄県から交付された保険給付費等交付金分の精算に伴う超過分を返還するもの。	原案可決 (全会一致)
令和4年度金武町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号) 歳入歳出それぞれ82万2,000円を増額し、総額1億6,867万3,000円とするもの。補正の主なものは、令和3年度決算剰余金に伴う繰越金の増及び保険料の総額に係る後期高齢者医療保険連合納付金の増額である。	原案可決 (全会一致)
令和4年度金武町有線放送電話事業特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出を増減なしとし総額3,092万1,000円とするもの。補正の主なものは、財政調整基金及び施設整備基金の残金を有線放送電話事業特別会計に繰り入れ、一般会計からの繰入金を減額するもの。	原案可決 (全会一致)
金武町有線放送電話事業財政調整基金の処分について 有線放送電話事業へ292万9,000円以内を充当するもの。	原案可決 (全会一致)
令和4年度金武町下水道事業特別会計補正予算(第3号) 歳入歳出それぞれ9,745万1,000円を増額し、総額を2億7,073万1,000円とするもの。補正の主なものは、並里・金武(第二期)地区農業集落排水資源循環施設建設工事に係る補助金の返還金分を増額するもの。	原案可決 (全会一致)
令和4年度金武町水道事業会計補正予算(第4号) 収益的支出の水道事業費に47万7,000円を加え、総額を5億4,536万5,000円とするもの。補正の主なものは、職員の給与改定に伴う人件費を増額するもの。	原案可決 (全会一致)

件 名	議決結果
金武町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について 人事委員会勧告等に基づき月例給の公民格差を解消するため行政職俸給表の平均改定率約0.3%の増額、期末勤勉手当の年間支給月数を0.1月引き上げるため条例の一部を改正するもの。	原案可決 (全会一致)
金武町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について 人事委員会勧告等を考慮し、条例の一部を改正するもの。	原案可決 (全会一致)
金武町体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について 金武町屋内運動場及び金武町ベースボールスタジアムスコアボードを新しく設置したため条例の一部を改正するもの。	原案可決 (全会一致)
海兵隊員による建造物侵入及び傷害事件に対する意見書 ※詳細は18ページ	可 決 (全会一致)
海兵隊員による建造物侵入及び傷害事件に対する抗議決議 ※詳細は18ページ	可 決 (全会一致)
金武町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について 認可外保育施設の子育て支援施設の運営に関する基準を定め、各施設が県の指導監督基準達成に向けた取組みを実施するよう、早期に周知を行うため条例の一部を改正するもの。	原案可決 (全会一致)
金武町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について 地方公務員の育児休業等に関する法律等の一部改正に伴い、育児休業の取得要件の緩和等を実施するため金武町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正するもの。	原案可決 (全会一致)
沖縄県北部医療組合の設立について 公立沖縄北部医療センターの整備に関する沖縄県北部医療組合設立に伴い規約を定めて沖縄県及び北部12市町村で協議するためのもの。	原案可決 (全会一致)
工事請負契約締結について 件 名：金武中学校屋内運動場建設工事(外構) 契約の相手方：有限会社 ナカムラ造園土木 契 約 金 額：5,091万2,400円	原案可決 (全会一致)
教育委員の任命について 河上章一氏を教育委員に任命するため同意を求めるもの。	同 意 (賛成多数)
教育委員の任命について 前田直美氏を教育委員に任命するため同意を求めるもの。	同 意 (全会一致)
副町長の任命について 金城司氏を副町長に任命するため同意を求めるもの。	同 意 (賛成多数)
議員派遣に関する決議	可 決 (全会一致)
工事請負契約締結についての議決内容の一部変更について 令和3年第4回6月定例会で議決された内容の一部変更 件 名：金武町多目的屋内運動場施設建設工事(建築) 契約の相手方：(株)ホカマ・(有)神中組・(有)仲正組 建設工事共同企業体 契 約 金 額：「15億5,881万800円」を「16億3,993万5,800円」に変更	原案可決 (全会一致)

海兵隊員による建造物侵入及び傷害事件に対する意見書・抗議決議

12月15日午前2時40分ごろ、金武町並里区において、酒に酔った状態のキャンプ・ハンセン所属の海兵隊員が会社事務所に侵入し、社員を羽交い絞めにするなど暴行を加え、唇を切るけがを負わせる事件が発生した。事件が発生したのは未明の時間帯であり、被害者はもとより周辺住民を恐怖に陥れた。

金武町では過去にも、酒に酔った米軍人が家屋等に侵入する事件が発生しており、そのたびに金武町議会は、綱紀粛正、再発防止等を徹底するよう米軍をはじめ関係機関に強く申し入れてきたところである。それにもかかわらず、事件が発生したことは極めて遺憾であり、怒りを禁じ得ない。

今回の事件は在日米軍がリバティー制度で飲酒を制限している時間帯に発生している。また、県内では毎週のように米軍人が飲酒運転で検挙されており米軍の綱紀の乱れを指摘せざるを得ない。度重なる、米軍人・軍属等による事件・事故は、町民に不安と恐怖を与えており、日米両政府の責任は重大である。

よって本町議会は、町民の生命、財産を守る立場から、今後いかなる事件・事故も起こさぬよう厳重に抗議し、下記事項が速やかに実現されるよう、強く要請する。

記

- 1 被害者に対する謝罪と完全な補償を早急に行うこと。
- 2 リバティー制度を見直し、遵守すること。
- 3 米軍人・軍属等の綱紀粛正を徹底し、実効性のある再発防止策を速やかに公表すること。
- 4 日米地位協定を抜本的に改定すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年12月16日

金武町議会

あて先

内閣総理大臣 防衛大臣 外務大臣
 内閣官房長官 沖縄及び北方対策担当大臣
 外務省沖縄特命全権大使 沖縄防衛局長
 決議宛先
 駐日米国大使 在日米軍司令官
 在沖米国総領事 在日米軍沖縄地域調整官
 キャンプ・ハンセン基地司令官



外務省沖縄事務所



沖縄防衛局

令和5年 第1回(2月)臨時会

令和5年第1回臨時会が2月2日(木)に招集され、1日間の会期で開催された。臨時会では、補正予算や工事請負契約、訴えの提起の審議を行い、採決の結果可決となった。

議決結果は下記のとおり。

令和5年 第1回(2月)臨時会 議決結果一覧

件 名	議決結果
令和4年度金武町一般会計補正予算(第7号) 歳入歳出それぞれ2,208万6,000円を増額し、総額121億5,776万円とするもの。補正の主なものは、妊娠時から出産後まで切れ目なく行う相談支援の充実や経済的な支援を目的とした出産・子育て応援交付金事業と金武中学校体育館が建設中で卒業式が同校で行えないため、金武町屋内運動場で卒業式を行うための会場設営委託料である。	原案可決 (賛成多数)
金武町財政調整基金の処分について 出産・子育て応援交付金事業、金武中学校卒業式会場設営業務へ511万6,000円以内を充当するもの。	原案可決 (賛成多数)
工事請負契約締結について 件 名：中川地区公園改修工事 契約の相手方：株式会社 仲正組 契 約 金 額：1億2,782万円	原案可決 (全会一致)
訴えの提起について 町営住宅を無断退去した者に対し、建物の明渡し、未納となっている住宅使用料の支払いを求める訴えを提起するため、地方自治法第96条第1項12号の規定により提案するもの。	原案可決 (全会一致)
議員派遣に関する決議	可 決 (全会一致)

議案に対する議員の賛否一覧

※賛成多数及び退席があった場合のみ掲載しています。

令和4年 第8回(12月)定例会

議案	決議結果	松田健人	與那城直也	山里均	伊藝菊博	仲間トム	伊藝直樹	仲村広美	与儀実栄	大城政敏	外間慎仁	吉野潤	池原政文	大城一之	崎浜秀幸	前田健次	嘉数義光
令和4年度金武町一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	○	議
令和4年度金武町下水道事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	○	議

令和5年 第1回(2月)臨時会

議案	決議結果	松田健人	與那城直也	山里均	伊藝菊博	仲間トム	伊藝直樹	仲村広美	与儀実栄	大城政敏	外間慎仁	吉野潤	池原政文	大城一之	崎浜秀幸	前田健次	嘉数義光
令和4年度金武町一般会計補正予算(第7号)	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	病	○	○	○	○	○	議
金武町財政調整基金の処分について	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	病	○	○	○	○	○	議

議案に賛成者は「○」とし、反対者は「×」とする。傷病の欠席者「病」、採決時退席者は「退」とする。

議長は採決に加わらないため「議」で表示。

町村議会常任委員長・副委員長実務研修会

昨年11月28日(月)、自治会館で沖縄県町村議会議長会主催の町村議会常任委員長・副委員長実務研修会が開催され金武町議会から4名の正副委員長が出席した。

研修会では沖縄町村議会議長会の金城康次事務局長から議会の内部機関である委員会の役割、委員会運営の流れ、所管事務調査の手順等が説明された。

県内では昨年24町村で議員選挙が行われ、それに伴い多くの町村で新たに正副委員長が就任した。



町村議会議長副議長研修会

1月30日(月)、自治会館で沖縄県町村議会議長会主催の町村議会副議長研修会が開催され前田健次副議長が出席した。

研修会では副議長は、普段から議長を補佐して議会運営に当たり、また、議長に事故が生じた場合は文字通り議長の職務を取らなければならずその職務には重いものがあるため副議長としての職責を全うしてもらうために沖縄県町村議会議長会事務局長の金城康次氏が「副議長の地位と役割について」と題して講演を行った。



沖縄県町村議会新人議員研修会

1月31日(火)、那覇市の自治会館で沖縄県町村議会議長会主催の新人研修会が行われた。この研修は、当選1回目の議員が対象で金武町議会から3名の議員が出席した。講師の沖縄県町村議会議長会の金城康次事務局長から「議員は支持者だけの代表、一定の地域、一定の団体の代表ではなく全住民の代表であるといった観点に立って行動し、判断しなければならない」と議員としての心構えの説明があった。県内では昨年24町村で議員選挙が行われ、72人の新人が当選した。



町村議会女性議員交流会

2月14日(火)、パシフィックホテル沖縄で沖縄県町村議会議長会主催の町村議会女性議員交流会が開催され仲村広美議員が出席した。

県内には30町村中、23町村議会に42名の女性議員が在職し、その内3名が議長に就任している。交流会には31名の女性議員が出席し、それぞれの議会の状況や地域課題への取り組み等について意見交換を行なった。



令和4年12月定例会において、各委員会の委員が改選されました。新たな委員の任期は、それぞれ令和4年12月13日から令和6年12月10日まで。

会

常任委員会

教育民生委員会

所管事項

- ・教育文化に関する事項
- ・教育委員会に関する事項
- ・衛生に関する事項
- ・厚生に関する事項

委員長 仲村広美
副委員長 伊藝直樹
委員 前田健次
委員 池原政文
委員 大城政敏

産業建設委員会

所管事項

- ・産業、建設に関する事項
- ・農業委員会に関する事項

委員長 仲間トム
副委員長 山里均
委員 大城一之
委員 與那城直也
委員 松田健人

総務財政委員会

所管事項

- ・総務、財政（税務を含む）に関する事項
- ・選挙管理委員会に関する事項
- ・監査委員に関する事項
- ・災害に関する事項
- ・予算、決算に関する事項
- ・他の委員会に関する事項

委員長 崎浜秀幸
副委員長 伊藝菊博
委員 吉野潤
委員 外間慎仁
委員 与儀実栄

各委員会委員を改選

議

特別委員会

議会広報調査 特別委員会

所管事項
・議会広報の編集並びに
発行に関する調査

委員長	松田健人
副委員長	伊藝菊博
委員	吉野潤
委員	大城政敏
委員	仲村広美
委員	山里均
委員	與那城直也

米軍基地問題対策 調査特別委員会

所管事項
・米軍基地から派生する
事件・事故・公害の調査

委員長	仲間トム
副委員長	外間慎仁
委員	前田健次
委員	崎浜秀幸
委員	大城一之
委員	与儀実栄
委員	伊藝直樹

その他必要に応じて設置

議会運営委員会

所管事項
・議会の運営に関する事項
・条例等に関する事項
・議会の会議規則、委員会に
関する条例等に関する事項
・議長の諮問に関する事項

委員長	崎浜秀幸
副委員長	伊藝菊博
委員	仲村広美
委員	伊藝直樹
委員	仲間トム
委員	山里均

町村議会議員・事務局研修会

2月15日(水)、パシフィックホテル沖縄で沖縄県町村議会議長会主催の町村議会議員・事務局職員研修が開催された。研修会では沖縄県企画部市町村課の森田賢課長が「市町村行財政等の状況」と題してマイナンバーカードの交付状況、職員の人事評価制度、地方公務員の定年の引き上げ、人口減少を見据えた市町村広域連携等について講演を行った。

また、農林水産省認定6次産業化ボランタリープランナーの加力謙一氏が「沖縄農業の課題と解決提案」と題して講演を行った。沖縄の農業の歴史を説明した上で、沖縄そばや島豆腐など沖縄料理の原料が外国産であるため、オーガニックにこだわった米、麦、大豆等穀物類の生産を提案した。また、農家の収入を上げる方法として、太陽光発電を活用した取組手法の説明があった。



講演をする森田賢氏



沖縄農業の課題を語る加力謙一氏

3月定例会のご案内

3月定例会の開会は3月2日(木)を予定しており、日程が決まり次第、戸別受信機やホームページ QAB データ放送でお知らせいたします。

金武町議会事務局

NTT: 098-968-2292



議員席間に設置したアクリル板

令和4年傍聴者数 合計36人

3月定例会	6月定例会	9月定例会	12月定例会	臨時会4回の合計
11人	4人	6人	2人	12人

QRコードを読み取ると議会中継サイトに繋がります。
金武町ホームページからもご覧になれます。



金武町議会では、検温、手指消毒や議場内の換気、議員間及び職員間にアクリル板の設置等新型コロナウイルス感染症対策を行っています。

※状況は町立図書館と各区事務所に配布している会議録をご覧になれます。
また、上記QRコードをスマートフォンで読み取ると映像が視聴できます。